

ジェイスユニバーサルCPMハンドコントローラー取扱説明書

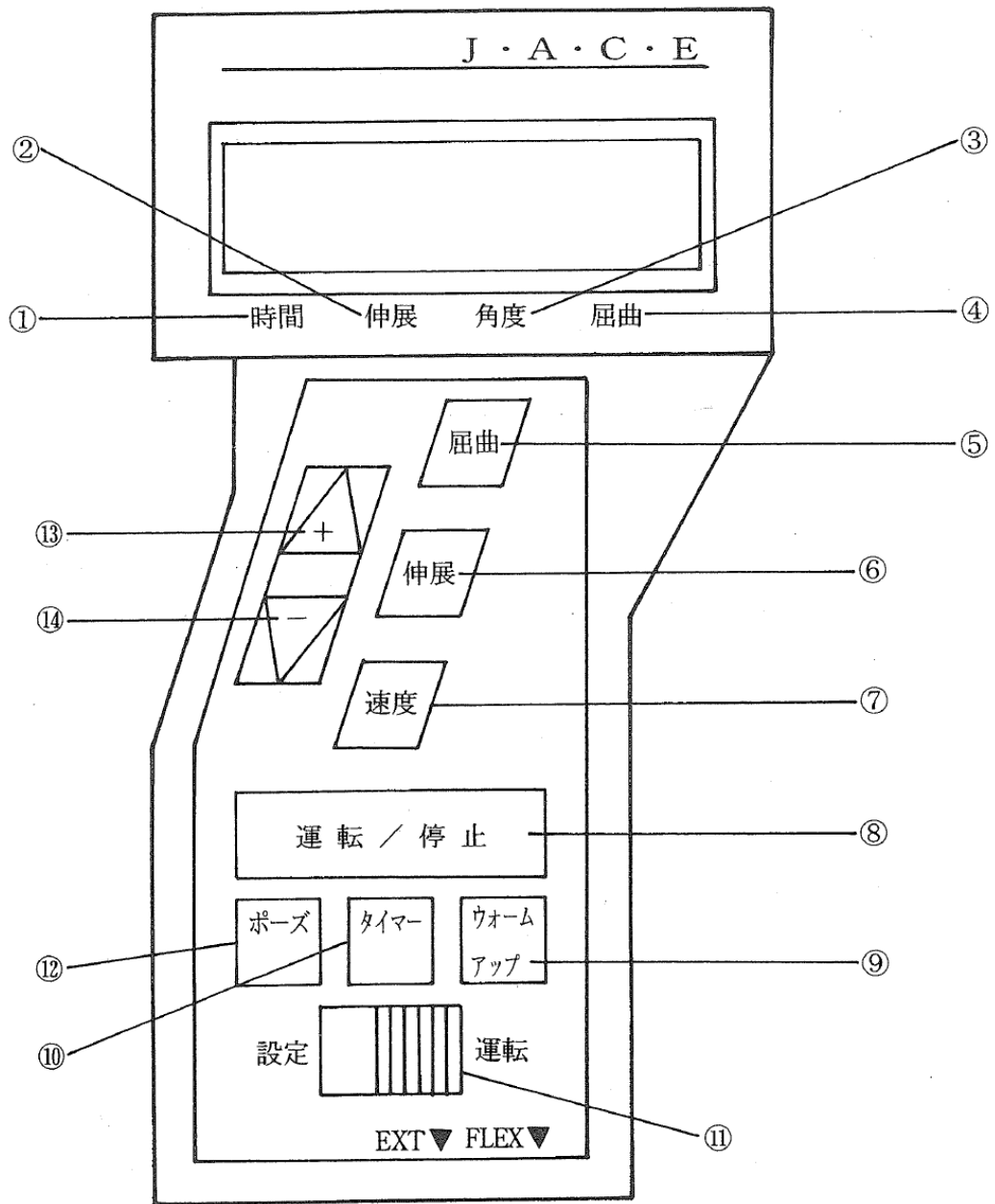
ZI-M023-5



医用電気機器ご使用上の注意

1. 機器の取り扱いは、その機器の操作手順を熟知した人が使用してください。
2. 機器の設置又は保管を行う時には、次の事項に注意してください。
 - ・水のかからない場所に設置又は保管してください。
 - ・気圧・温度・風通し・日光に留意し、ほこり・塩分・イオウ分などを含む空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置又は保管してください。
 - ・傾斜・振動・衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意して設置又は保管してください。
 - ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に、設置又は保管しないでください。
 - ・電源の電圧・周波数・消費電力に注意して設置してください。
 - ・電源コードに備え付けられている3Pプラグは、必ず3P用コンセントに接続して設置してください。
3. 機器を使用する前には、次の事項に注意してください。
 - ・機器が正常で、かつ安全に作動する事を確認してください。
 - ・スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定などの点検を行い、機器が正確かつ安全に作動する事を確認してください。
 - ・接地線（アース）、コード類の接続が正確で、かつ完全である事を確認してください。
 - ・他の機器を併用する場合は、必ず専門家の指示に従ってください。
4. 機器の使用中は次の事項に注意してください。
 - ・患者の安全及び機器の作動に異常がないか絶えず、監視してください。
異常が発見された場合は、ただちに患者が安全であるように、機器の作動を停止する等、適切な処置を講じてください。
 - ・機器に、患者が触れないように注意してください。
5. 機器の使用後は、次の事項に注意してください。
 - ・定められた手順により操作スイッチ、ダイヤル等を使用前の状態に戻した後、電源を切ってください。
 - ・コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないでください。
 - ・機器は次回の使用に支障のないように、必ず清掃してください。
6. 機器が正常に作動しない時は、必ず適切な表示を行い、下記までご連絡ください。修理は専門家にお任せください。
7. 機器は、絶対に勝手に改造しないでください。
8. 保守点検
 - ・機器及び部品は、必ず定期点検を行ってください。
 - ・しばらく使用しなかった機器を再使用する時には、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動する事を確認してください。

1. ハンドコントローラー各部の名称



各部の名称と機能

No.	名 称	機 能 説 明
①	時 間	経過時間を分単位で示します。屈曲から伸展、伸展から屈曲に移行するとき、ポーズ時間が設定されていれば、その間の表示は次の運動開始までのカウントダウンに変わります。タイマー設定を「連続」にした場合、表示は「レンジク」となります。 *ポーズ時間：屈曲、伸展の各モーション毎の一時停止時間のこと。 0～255 秒まで設定可能
②	伸 展	設定された伸展角度を表示する。伸展方向に作動中は角度表示が点滅します。
③	角 度	現在の角度を表示します。
④	屈 曲	設定された屈曲角度を表示する。屈曲方向に作動中は角度表示が点滅します。
⑤	屈曲角度設定ボタン	屈曲角度、ポーズ時間、及び反転トルクの設定ボタンです。
⑥	伸展角度設定ボタン	伸展角度、ポーズ時間、及び反転トルクの設定ボタンです。
⑦	速度設定ボタン	速度設定のボタンです。設定範囲は 4 度/分～120 度/分です。
⑧	運転/停止ボタン	押すと始動します。もう一度押すと停止します。
⑨	ウォームアップボタン	ウォームアップ時間の設定に使用します。
⑩	タイマーボタン	タイマーにより CPM を自動停止させるとき使用します。 * “レンジク” モード付き、0～762 分まで 3 分単位。
⑪	モード切替スイッチ	運転－設定値の記憶及び通常作動のとき 設定－設定値を変更するとき
⑫	ポーズボタン	ポーズ時間を設定するとき使用します。(0～255 秒)
⑬	＋ボタン	伸展/屈曲角度、タイマー時間の設定等を増やすとき使用します。
⑭	－ボタン	伸展/屈曲角度、タイマー時間の設定等を減らすとき使用します。

ウォームアップ機能

ウォームアップ機能は C・P・M 開始、特に患者の疼痛を軽減するために開発された機能で、目標 R・O・M とウォームアップ時間を設定することにより目標 R・O・M の 50%より開始し、ウォームアップ終了時に 100%となるようプログラムされた機能です。

- ⑥反転トルクの設定 反転トルクは記憶した負荷に対し 130%から 240%の範囲で設定可能です。
(下表参照)

伸展時の反転トルクの設定

最初に“伸展角度設定ボタン”を押します。つぎに“ポーズボタン”と“運転/停止ボタン”を同時に押します。“ポーズボタン”を先にはなすと反転トルク（伸展）の設定モードに入りますので“+”、“-”ボタンでトルクを設定します。

屈曲時の反転トルクを設定するときには“伸展角度設定ボタン”の代わりに“屈曲角度設定ボタン”を押します。以降の操作は伸展時と同様です。

設定値	反転トルク	設定値	反転トルク
1	130%	6	190%
2	140%	7	200%
3	150%	8	210%
4	160%	9	230%
5	180%	10	240%

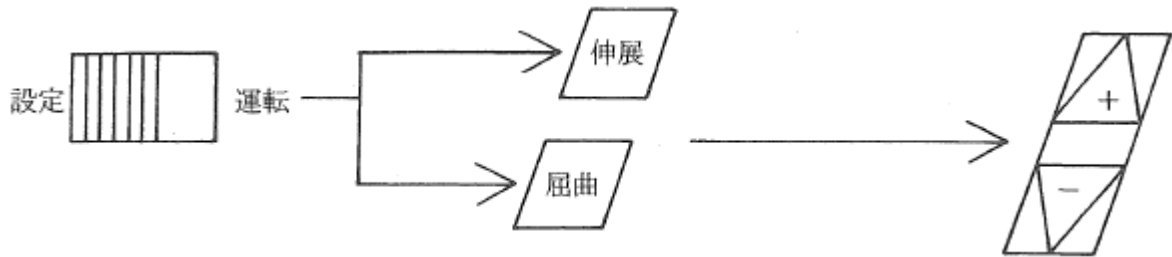
工場出荷時設定は伸展時 10、屈曲時 10 です。患者さんの筋力の強さ、オステオポローゼの程度等により設定を適当に変更してください。

ハンドコントローラー操作早見表

ハンドコントローラーの設定を変更する場合には“運転/停止ボタン”にてCPMを停止させ“モード切替スイッチ”を“設定”に合わせてください。

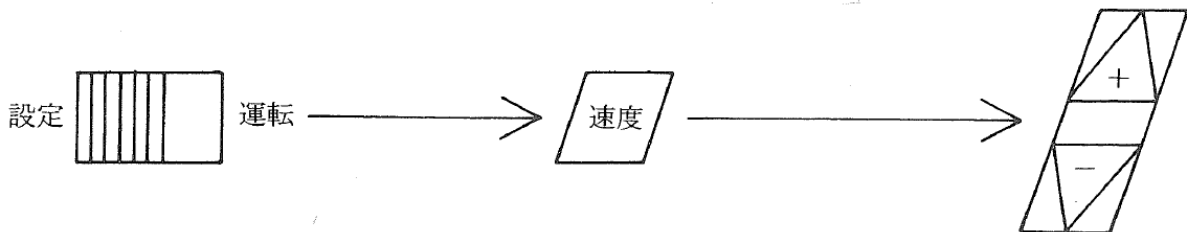
1 伸展/屈曲角度の設定

- ① モード切替スイッチを設定に合わせて
- ② 伸展または屈曲を選びます
- ③ 角度を設定します



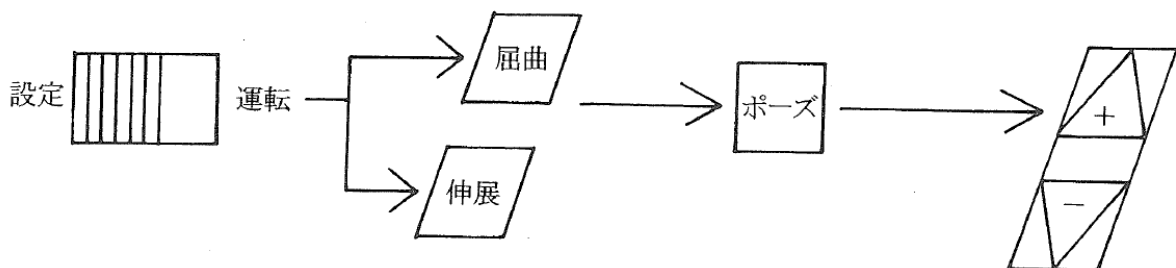
2 速度の設定

- ① モード切替スイッチを設定に合わせて
- ② 速度ボタンを押します
- ③ 速度を設定します



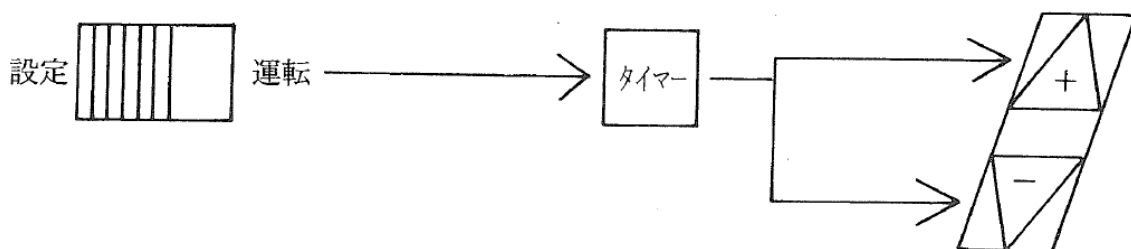
3 ポーズ時間の設定

- ① モード切替スイッチを設定に合わせて
- ② 屈曲または伸展を選びます
- ③ ポーズボタンを押します
- ④ ポーズ時間を設定します



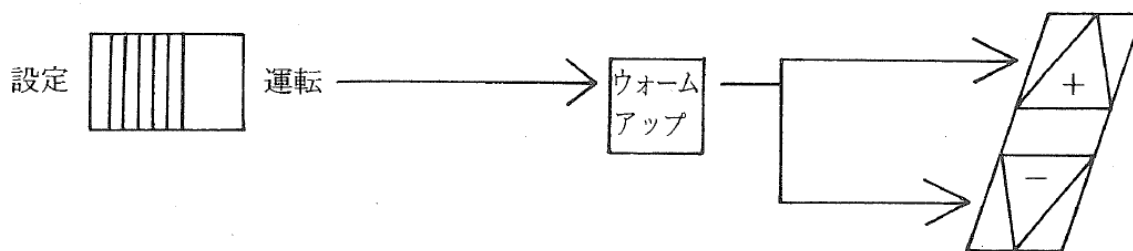
4 タイマーの設定

- ① モード切替スイッチを設定に合わせて
- ② タイマーボタンを押します
- ③ タイマーを設定します

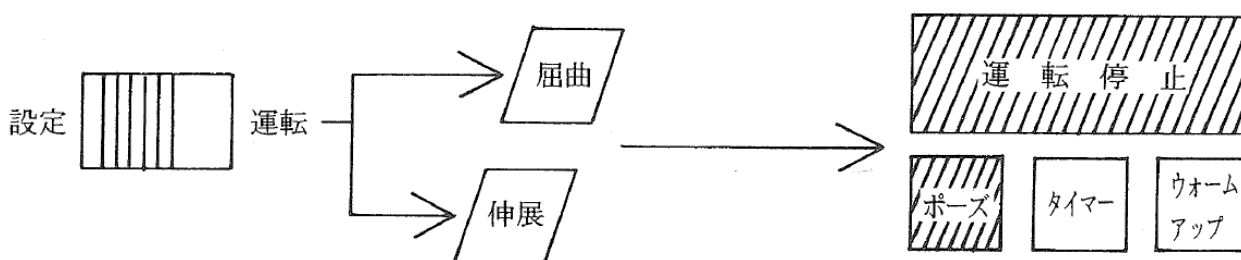


5 ウォームアップ時間の設定

- ① モード切替スイッチを設定に合わせます ② ウォームアップボタンを押します ③ ウォームアップ時間を設定します

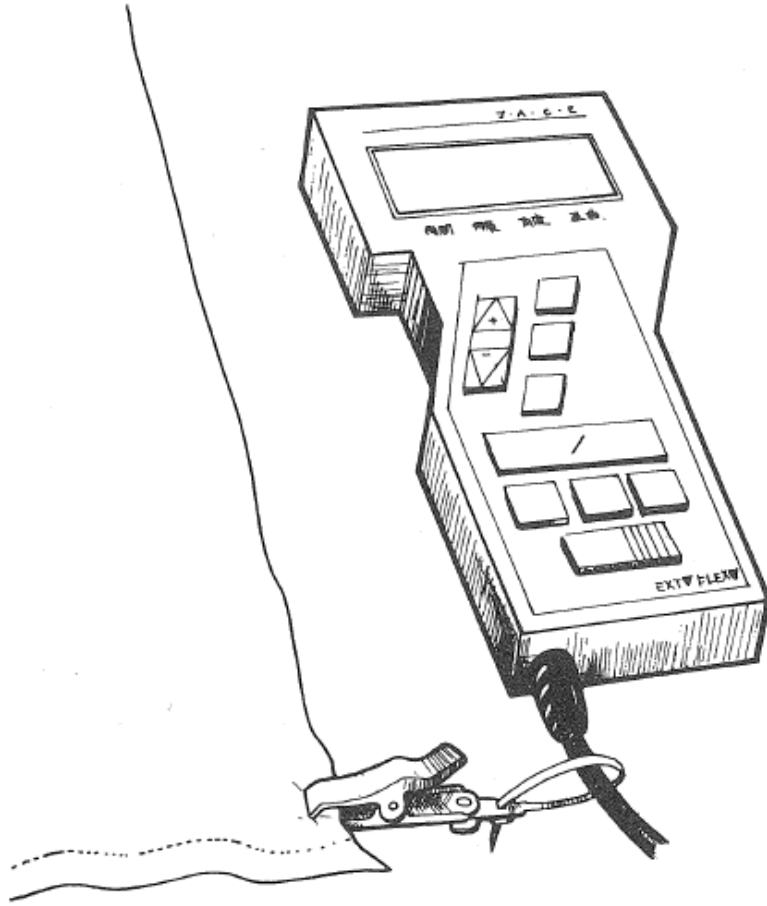


- ① モード切替スイッチを設定に合わせます ② FLEXまたはEXTを選びます ③ 運転/停止ボタンとポーズボタンを同時に押します



- ④ ポーズボタンを先にはなし反転トルクの設定モードに入ります ⑤ 反転トルクを設定します





シート等へクリップでとめて使用してください。

ZI-M023-5 6/14